

記者発表(資料配布)				
月/日 (曜日)	担当課 担当名	TEL	発表者 (担当班長名)	その他の配布先
4/7 (木)	体育保健課 学校体育班	078-362-3787 (内線5777)	課長名 船田 一彦 (北中 睦雄)	なし

平成27年度兵庫県児童生徒体力・運動能力調査結果について

I 調査の概要

- 調査目的** 県下小・中・高等学校児童生徒の体力・運動能力の調査を行い、実態を把握することにより、指導の基礎資料を得る。
- 調査校数** 小学校162校、中学校90校、高等学校32校 計284校
- 調査人数** 小学校18,200名、中学校10,468名、高等学校6,578名 計35,246名
- 調査学年** 小学校1～6年生、中学校1～3年生、高等学校1～3年生
- 調査期間** 平成27年5月～7月
- 公表** 平成28年4月下旬に兵庫県教育委員会体育保健課ホームページに掲載

II 結果の概要

1 本県児童生徒の体力・運動能力(平成27年度)と全国平均値(平成26年度)の比較(P3～P5)

- 本県平均値と全国平均値の有意差を求めた結果、男女ともに小学校の一部の学年を除き全国平均と「同程度」もしくは「上回る」項目が多かった。
- 種目別にみると、50m走と持久走は、男女ともほとんどの校種で全国平均と「同程度」もしくは「上回る」項目が多かった。立ち幅跳びは、男女ともほとんどの校種で全国平均と「同程度」の項目が多かった。しかし、反復横跳びの小学生の男女、上体起こしの小学生・中学生の男女、握力とボール投げの全校種の男女において、昨年度に引き続き課題が残る結果となった。

【図表1】本県児童生徒の体力・運動能力(平成27年度)と全国平均値(平成26年度)の比較

区分	性別 校種 学年 年齢	男子															女子														
		小学校						中学校			高等学校			小学校						中学校			高等学校								
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3						
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
新 体 力 テ ス ト	握力	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	▼	▼	▼						
	上体起こし	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	◎	○	▼	▼	○	▼	○	▼	▼	○	▼	▼	▼	○						
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○						
	反復横とび	▼	○	▼	▼	▼	▼	○	○	○	○	◎	○	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	◎						
	持久走	/						◎	○	○	◎	◎	○	/						◎	○	◎	◎	○	○						
	20mシャトルラン	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	◎	○	○	◎						
	50m走	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○						
	立ち幅とび	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	ソフトボール投げ	▼	▼	○	○	○	○	/						▼	▼	○	▼	▼	○	/											
	ハンドボール投げ	/						▼	▼	▼	○	○	▼	/						○	○	○	▼	▼	▼						
◎全国平均値より上回っている	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2							
○全国平均値と同程度	2	4	5	5	5	5	4	4	5	7	4	6	4	2	6	3	5	5	6	8	5	5	5	5							
▼全国平均値を下回っている	6	4	3	3	3	3	4	5	4	1	1	2	4	6	2	5	3	3	2	1	2	3	4	2							

※上の表は1%有意差検定による。

(◎印は、本県が全国より上回っている。○印は、本県と全国が同程度。▼印は、本県が全国を下回っている。)

2 本県児童生徒の体力・運動能力（平成27年度）と昭和60年頃（昭和59～61年の全国平均値）との比較（P6）
 兵庫県スポーツ推進計画の目標である、昭和60年頃の水準に達している項目数は増加し、目標達成にむけて達成率は上昇している。

【図表2】本県の記録が昭和60年頃に達した項目の割合

	H25年度	H26年度		H27年度		H30年度目標
小学校	0%	0%	⇒	0%	⇒	33.3%
中学校	12.5%	37.5%		37.5%		62.5%
高等学校	12.5%	12.5%		25.0%		50.0%
全項目	9.1%	18.2%	⇒	22.7%	⇒	50.0%

- ・水準を超えている項目（指標が100%以上）： 中学校男・女50m走、男子持久走の3項目
 高等学校男子50m走・持久走の2項目
- ・ほぼ達している項目（指標が99%以上）： 小学校男子50m走の1項目
 中学校女子持久走の1項目
 高等学校女子50m走・持久走の2項目
- ・課題が見られる項目（指標が90%未満）： 小学校男子握力・投能力、全校種女子の投能力

【図表3】平成27年度兵庫県と昭和60年頃の各種目平均値比較

学年	性別	種目	平均値				昭和60年頃を100とした指数(%)	
			昭和60年頃	平成27年	記録の差 (H27- S60)	(H26)	H27	(H26)
小学校5年生	男	握力	18.40kg	16.16kg	-2.24kg	16.48kg	▼ 87.8	89.6
		50m走	9.10秒	9.17秒	+0.07秒	9.14秒	◎ 99.2	99.6
		ソフトボール投げ	29.42m	23.66m	-5.76m	24.95m	▼ 80.4	84.8
	女	握力	17.15kg	15.81kg	-1.34kg	15.81kg	92.2	92.2
		50m走	9.37秒	9.48秒	+0.11秒	9.50秒	98.8	98.6
		ソフトボール投げ	17.44m	14.17m	-3.27m	14.28m	▼ 81.3	81.9
中学校2年生	男	握力	31.53kg	29.09kg	-2.44kg	29.16kg	92.3	92.5
		50m走	7.97秒	7.84秒	-0.13秒	7.83秒	101.6	101.8
		持久走(1,500m)	371.38秒	369.29秒	-2.09秒	370.01秒	100.6	100.4
		ハンドボール投げ	22.35m	20.91m	-1.44m	21.18m	93.6	94.8
	女	握力	25.32kg	24.14kg	-1.18kg	24.16kg	95.3	95.4
		50m走	8.69秒	8.69秒	±0秒	8.63秒	100.0	100.7
		持久走(1,000m)	274.28秒	275.88秒	+1.60秒	274.93秒	◎ 99.4	99.8
		ハンドボール投げ	15.42m	13.42m	-2.00m	13.61m	▼ 87.0	88.3
高等学校2年生	男	握力	44.09kg	40.34kg	-3.75kg	40.00kg	91.5	90.7
		50m走	7.38秒	7.22秒	-0.16秒	7.30秒	102.2	101.1
		持久走(1,500m)	360.94秒	353.63秒	-7.31秒	364.62秒	102.0	99.0
		ハンドボール投げ	27.86m	26.28m	-1.58m	26.08m	94.3	93.6
	女	握力	28.70kg	26.29kg	-2.41kg	26.19kg	91.6	91.3
		50m走	8.81秒	8.85秒	+0.04秒	8.94秒	◎ 99.6	98.5
		持久走(1,000m)	291.45秒	292.77秒	+1.32秒	303.03秒	◎ 99.6	96.2
		ハンドボール投げ	16.60m	14.08m	-2.52m	14.24m	▼ 84.8	85.8
		項目数	22項目	5項目		4項目		

※ は昭和60年頃の水準に達している項目（指標が100%以上）

※「◎」はほぼ達している項目（指標が99%以上）、「▼」は課題のある項目（指標90%未満）

3 月齢と各測定項目の関係(P7~P10)

生年月日をもとに、生まれてから経過した月数を月齢とし、体力テストの測定項目との関係を調査したところ、男子は中学校期終了、女子は小学校期終了までの間に、上体起こし・長座体前屈・シャトルラン以外の項目において、生まれ月が早いほど記録が高い結果となり、月齢と各測定項目の間に有意な相関関係が認められた。

4 本県児童生徒の体力・運動能力と生活習慣(P11~P13)

(1) 食事

朝食摂取状況と体力・運動能力の関係では、体力・運動能力の9項目のうち、校種別項目合計は、小学生(6学年)では、男子31項目(64.6%)、女子で27項目(56.2%)、中学生(3学年)男女ともに16項目(59.3%)、高校生(3学年)男子25項目(92.6%)、女子22項目(81.5%)と朝食を毎日食べる児童生徒の成績が上回った。

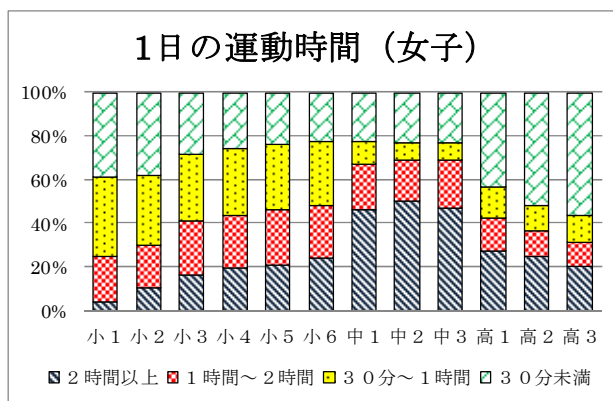
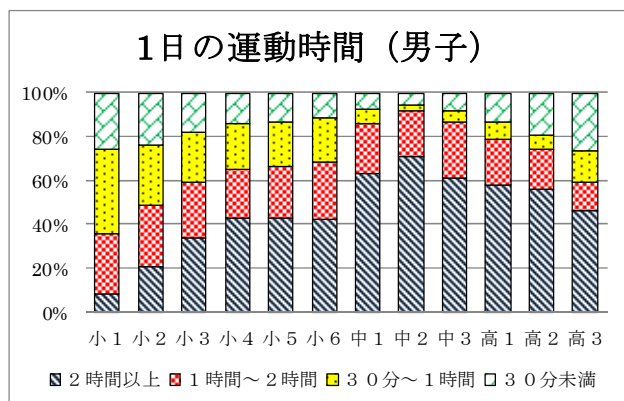
【図表4】 兵庫県児童生徒の朝食摂取状況と体力・運動能力の関係

男子	小学生	中学生	高校生	項目 合計	女子	小学生	中学生	高校生	項目 合計
	(6学年)	(3学年)	(3学年)			(6学年)	(3学年)	(3学年)	
握力	2	1	2	5	握力	1	2	2	5
上体起こし	4	3	3	10	上体起こし	5	2	2	9
長座体前屈	3	2	3	8	長座体前屈	1	1	2	4
反復横とび	4	3	3	10	反復横とび	4	3	3	10
持久走	—	3	3	6	持久走	—	2	3	5
20mシャトルラン	6	1	3	10	20mシャトルラン	5	3	3	11
50m走	5	1	3	9	50m走	6	2	3	11
立ち幅とび	5	1	3	9	立ち幅とび	3	1	2	6
ボール投げ	2	1	2	5	ボール投げ	2	0	2	4
校種別合計	31	16	25	72	校種別合計	27	16	22	65

(2) 運動・生活環境

学校体育の授業を除く運動・スポーツの実施時間が1日1時間以上の割合の各校種毎の平均値は、小学生男子で57.5%、女子で39.3%、中学生男子88.0%、女子で68.4%、高校生男子で71.4%、女子で36.9%となっており、特に小学生と高校生女子で運動時間が不足している結果を得た。

【図表5】 兵庫県児童生徒の1日の運動時間



5 調査結果からみた本県体力向上事業の結果(P14～P15)

体力アップスクール表彰受賞校と非受賞校、体力アップサポーター派遣校と非派遣校との比較では、総合得点平均値において、以下の表のとおり受賞校及び派遣校が高い値（ポイント）を示した。

【図表6】本県の体力向上事業の調査結果

区 分（事業結果比較）	小学校		中学校	
	男子	女子	男子	女子
体力アップスクール表彰受賞校と非受賞校	+1.1	+1.0	+0.7	+2.9
体力アップサポーター派遣校と非派遣校	+0.7	+1.3	※小学校事業のため実施せず	

III 課題

- 1 投能力の向上
- 2 小学生の体力水準の向上
- 3 女子児童生徒の運動時間の増加
- 4 教員の専門的指導力の向上

IV 今後の取組

1 「体力アップサポーター派遣事業」の活用

- (1) 小学校に専門性に優れたサポーターを派遣し、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動習慣の定着を図り、小学生の体力向上につなげるために実施している、「体力アップサポーター派遣事業」を拡充する。
- (2) 体力アップサポーターが実施する授業を、近隣学校に対象を拡大し教員研修の場（公開授業）として活用する。
- (3) 体力アップサポーターが実施した授業の動画を体育保健課ホームページに掲載する。

2 「運動プログラム」(DVD)の更なる活用

- (1) 体育保健課ホームページに掲載している運動プログラムの動画を、スマートフォンやタブレット端末等でも視聴できるようにする。
- (2) 市町組合教育委員会学校体育担当者等連絡協議会や県立学校体育主任会、小・中学校教育研究会体育部会等において一層の活用を促す。

3 研修会・講習会を通じた、教員の指導力向上

- (1) 兵庫県学校体育実技講習会（10月開催）を2日間から3日間に日程を増やし、新たに幼稚園・小学校低学年を対象にした実技講習を追加する。
- (2) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業（県内5ブロックに分かれて開催）における実技講習を通して、教員の指導力及び実技能力を向上をさせ、教科体育の充実を図る。その際「運動プログラム」(DVD)未活用校については悉皆参加を促す。

4 体力アップスクール表彰受賞校の実践事例の普及

- (1) 体力向上に成果をあげている体力アップスクール表彰受賞校の取組を、体育保健課ホームページにアップするなど、全県的に広めていく。
- (2) 市町組合教育委員会学校体育担当者等連絡協議会や、幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業（県内5ブロックに分かれて開催）における実技講習において、体力アップスクール表彰受賞校の実践事例の発表・研修を行っている地区の取組について紹介し、各市町から実践事例の普及に取り組んでもらう。